

令和5年度スマートシティモデル事業 「ひょうごスマートシティ・チャレンジ」の成果概要

1 目的

ICT・データ利活用による社会課題の解決を進めるため、モデル地区6市が提示するそれぞれの課題に対して、技術やノウハウを持つ民間事業者から、県内他地域への横展開を視野に入れた解決策を募集し、事業化検証を実施

2 経緯

時期	摘要
6月16日～30日	「ひょうごスマートシティ・クリエイティブチャレンジ」運営業務企画提案コンペを実施
7月11日	運営業務受託事業者を「NPO法人コミュニティリンク」に選定
9月10日～30日	「ひょうごスマートシティ・チャレンジ」実証事業者を募集
11月9日	「ひょうごスマートシティ・チャレンジ」参加事業者を決定
11月～2月末	モデル地区（三田、加古川、三木、加西、姫路、養父の6市）で事業化検証を実施
3月13日	「ひょうごスマートシティ・チャレンジ成果報告会」を開催（オンライン：約60名参加）

3 モデル地区の取組概要

モデル地区	参加事業者 [所在地]	社会課題	取組概要	成果・現状 (令和6年4月時点)
三田市	総合警備保障(株) [東京都港区]	BLEタグによる認知症高齢者見守りネットワークを構築したい！	複数企業のBLEタグを検知する広域連携用アプリを使った見守りネットワークを構築	事業化検証継続中
加古川市	ソフトバンク(株) [東京都港区]	データから農業のポテンシャルを発掘！スマート農業都市『“トカイナカ”KAKOGAWA』を実現したい！	農業栽培ノウハウの体系化と共有を目指して、農業IoTサービスを使った農業情報プラットフォーム構築を検討	事業効果を確認
三木市	(株)PREVENT [名古屋市中区]	健康データを用いたデータ分析による未病予防にチャレンジ！『100年先も誇りをもって暮らせるまち』をめざして	疾病の発症要因の特定やデータ分析結果を踏まえた保健事業のアップデート策を検討	事業効果を確認
加西市	スパイラル(株) [東京都港区]	自治体広報をDX！高齢者にも若者世代にも見やすく伝わる広報を実現したい！	高齢者が見やすく便利になったと感じるだけでなく、アナログ情報に関心が低い若年層が見たくなる広報をデジタルで実現	令和6年度実装予定
姫路市	(株)アドバンス・メディア [東京都豊島区]	電話×DX！相談記録の作成時間を削減したい！	音声認識ソリューションを活用して、本来業務である市民の相談対応への注力を支援	令和6年度実装予定
養父市	ためま(株) [神戸市]	デジタルの力で地域運営組織を活性化！運営ナレッジの共有や広報PRを強化したい！	心理的抵抗により必要な地域情報が地域情報アプリに投稿されていない状況打開に向けた方策を検証	既に導入済のサービスを拡張

4 振り返り

(1) 総括

- モデル地区が抱える6つの課題に対し、事業者30社から解決策の提案があり、県内外の多彩な事業者の参画を得て、各課題の解決に向けた事業化検証を実施。うち3件は実装に結びつくなど、大きな成果を得ることができた。
- 事業の成果を1つの市町だけに止めず、事例共有の機会を設けて、県内他市町への横展開を促すことができた。
- 様々なソリューションを有し、実証の知見も豊富な事業者の県内での新たな事業展開の糸口を作ることができた。

(2) 課題

- 事業化検証の期間が短く、すぐに横展開可能な具体的な分かりやすい事例を創出する上で難しさがあった。事業化検証に十分な期間の設定や、次年度に一部持ち越し、横展開につなげる仕組みづくりなどを検討する必要がある。
- 事業化検証後の取組のイメージが明確でないケースがあり、一部の参加事業者にとって継続性の見えなさがあった。検証後に本格導入する可能性の高い課題を提示するように事前の県と市町との調整をより綿密に行う必要がある。

(3) 今後に向けて

- 検証期間が短かったため、事業化検証中の取組を他の市町と共有する機会がないまま最終報告会を迎えることになった。その後の横展開を進める観点からは、事業化検証中の現場を県内他市町が見学できる機会を設けるなど、プロジェクト期間中から市町間の交流を図る取組を検討する必要があると考える。

